

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2022年10月24日にパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

区分Ⅰ： 該当なし

区分Ⅱ： 該当なし

区分Ⅲ： 該当なし

その他： 3 件

NO.	号機等	不適合件名	グレード	発見日
1	2号機	非常用ディーゼル発電設備軽油タンク(B)において、社内で定める軽油の液位(5325mm)に対し5308mmまで低下していたことが認められたため、原因調査・対策検討。 なお、別の社内で定める、「事故後7日間は事故収束対応を維持できる様、燃料を確保すること」の軽油の液位(3371mm)は確保できているため、事故対応時の備えに不備はなかった。 また、系外への軽油の漏えいが発生していないことを確認している。	GⅢ	10月18日
2	3・4号廃棄物処理設備	廃棄物処理建屋3階の排気ファンフィルタ室前汚染状態の確認において、放射能濃度を算出する際に計算を誤り1桁小さい値(49Bq/cm ² を4.9Bq/cm ²)で算出していたことが認められたため、原因調査・対策検討。 なお、誤った値を用いた区域の管理は行っていなかったため、放射線管理に問題はない。	GⅢ	10月23日
3	その他	構外西門へのアクセス道路を除草する前の現場確認において、作業員1名が誤って道路脇の側溝に足を踏み外し、左足の脛が側溝の淵にあたり出血したため業務車により病院へ搬送した。医師により「左下腿挫創」と診断されたことが認められたため、原因調査・対策検討。 なお、負傷した作業員は翌日から入社し業務を行っている。	GⅢ	10月19日